

(倫理様式 2-2-1)

## 脳卒中患者の家屋評価において訪問リハビリスタッフが関わる意義 に関する研究

### 1. 研究の対象

脳卒中で美原記念病院に入院されており、2017年4月から2018年3月に家屋評価を実施した方と、2018年5月から2019年4月までに訪問リハビリスタッフ同行のもと家屋評価を実施した方

### 2. 研究目的・方法

脳卒中患者において在宅生活に復帰する際の住環境は、ADLの自立の可否を左右するのみでなく、退院後のQOLや健康維持にも大きく影響を与えるものです。そのため、当院では必要に応じて入院中の患者に対し家屋評価を行い、住環境整備について患者・家族へ提案しています。しかしながら、家屋評価は入院中の担当スタッフが行っており、若年スタッフが多く在宅リハビリの経験がないため、住環境整備に対する知識が不十分であると思われます。そのため、当院では2018年5月より訪問リハビリスタッフが家屋評価に同行し、住環境整備案の立案や退院調整のアドバイスを行っています。今回、家屋評価の報告書のデータと診療録等からのデータを収集し、家屋評価に訪問リハビリスタッフが関わったことにより、家屋評価の実施状況や提案内容に変化が生じたかを調査し、今後の退院支援の在り方を決定する一助となることを目指します。

これらの研究は、2019年9月～2020年3月の間に実施します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、身体機能の情報、家屋評価を実施した際の情報、住宅改修等の提案内容 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L：0270-27-8813 F A X：0270-24-3359

研究責任者：リハビリテーション科 関野 智